



## Tom Dixonの新たなデザイン・ハブ TOM DIXON TOKYO 2023年5月東京都南青山にグランドオープン



英国の上質なデザインブランドTom Dixon（トム・ディクソン）は、2023年5月、アジアにおける新しいデザイン・ハブ（発信基地）として、港区南青山に、TOM DIXON TOKYO（トムディクソン・トーキョー）をオープンしました。

2002年に設立された Tom Dixonは、ブランドの創業者でありクリエイティブ・ディレクターを務めるトム・ディクソンによるブランドです。照明を中心に、家具、インテリア・アクセサリを展開し、ロンドンをはじめ、ミラノ、香港、ニューヨーク、東京、杭州、北京、上海などを拠点に、世界約90カ国で展開しています。

トム・ディクソンは以前より、ライフスタイルとは家具や照明などのハードウェアのみで構成されるものではなく、人間の視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚といった五感を通して感じることを全てが含まれると考えています。その思想は、アロマ・キャンドルや、ブランド・アイコンにもなっているMELT（メルト）などの商品デザインを展開するだけでなく、同社のデザインスタジオ Design Research Studio（デザイン リサーチ スタジオ）がデザインを手掛けるイギリス・ロンドンのCoal Office（コール・オフィス）、イタリア・ミラノのManzoni（マンゾーニ）など、レストラン併設のショップを展開するなど、複合的にブランドを発信という新たな手法にも反映されています。

TOM DIXON TOKYOでも、店内にカフェを併設し、商品を選ぶだけでなく、お客様の五感でトム・ディクソンの世界観を体験できる空間をご用意しました。また、「音のパートナー」として、60年以上の歴史を持つイギリスの音響機器ブランド・KEF（ケーイーエフ）と協業し、トム・ディクソンのデザインに囲まれながら、最高品質のサウンドを提供します。店内に添えられている植栽は空間装飾、広告撮影などで関西を中心に活躍する若手フローリストの谷井聖が監修しています。トム・ディクソンが作り出す“Extraordinary=並外れた”空間を中心に広がるデザインの世界をご堪能ください。

Tom Dixon の国内総代理店は、TDX株式会社（代表取締役 小泉裕）が務めます。

### 店舗概要

名称	TOM DIXON TOKYO（トムディクソン・トーキョー）
住所	107-0062 東京都港区南青山6-13-1 南青山IDÉALビル1F / 表参道駅 B3出口より徒歩8分
営業時間	11:00～18:00 定休日 水/日曜日 年末年始 夏季休暇
ウェブサイト	<a href="https://www.tomdixon.tokyo/">https://www.tomdixon.tokyo/</a>
開業日	2023年5月
店舗面積	223.08㎡（67.6坪）

## 2023年 日本展開予定の新作

### PORTABLE 日本展開時期：2023年8月頃

照明の新しいカテゴリーとして充電式ポータブル・ライトの展開を発表しました。この新しく加わったカテゴリーは、既存の照明アイテム MELT（メルト）、STONE（ストーン）、BELL（ベル）のデザインから再構築され、且つ高い表現力発揮するためにLED光源やシェードの形状、質感などを含め巧みに設計し、サイズも非常にコンパクトに製品化しました。また、ポータブル・ライトは、従来の照明とは異なり、屋内外を問わず、電源が無い場所でも使用可能だけでなく、バッテリーの効率化と消費電力を極力まで抑えた光源を取り入れることで長時間使用することができます。（注：当該商品に防水加工などは施されていません。）



### PUFF 日本展開時期：2023年9月頃

PUFF（パフ）は、膨張し続ける幾何学から着想を得てデザインされた照明です。シェードは30枚の立体的な金属パネルから構成された直径45cmの複雑な多面体のオブジェで、フワフワとした繊細な構造物に見えますが、立体的なパネルを組み合わせることによって、見た目よりも強固な構造になっています。トム・ディクソンは、「平らな金属の菱形が、まるで膨らんだかのように見えるのは、金属パネルに巧みに刻み込まれ切り込みによって、柔らかい曲線を産み出し、その隙間を縫って光が放たれるからです」と、この照明の特徴を述べています。パフのパネルには、エッチングやパンチングによって無数の切込みが施され、小さくても高い反射率を持つよう加工された素材を用いることで、内部で無数の反射が起こり、まるで逆さになったディスコボールのような輝きを放ちます。



## Tom DixonによるDesign Research Studio が空間デザインを手掛けた最新施設

ガレージやラウンジ、バー、サウナ、プレミアムなカーシェアを備えた唯一無二のメンバーシップ・クラブ ESC GARAGE&CLUB(2023年8月大阪市西区にオープン予定)。Design Research Studioがデザインを手掛けました。





## TOM DIXON BIOGRAPHY

2002年に設立された Tom Dixon (トム・ディクソン) は、ブランドのアイコンである照明を中心に、家具、インテリア・アクセサリを展開するイギリスの上質なライフスタイルデザインブランドです。ロンドンをはじめ、ミラノ、香港、ニューヨーク、東京、杭州、北京、上海を拠点に、世界約90カ国で展開しています。ブランドのルーツであるイギリスの伝統、文化からインスパイアされたデザインは、その先駆的で独創的な素材や技術の活用方法が世界中で広く認知され、高く評価されています。



ブランドの創業者であり、クリエイティブ・ディレクターを務めるトム・ディクソンは、1980年代半ばに、廃材を溶接し、様々なアート作品のような家具を世に放つことで、破天荒な異色のデザイナーとして注目を浴びました。その後、イタリアの大手家具メーカー、カッペリーニ社とのコラボレーションにより、「Sチェア」をデザインし、その奇抜なデザインが高い評価を得ました。



90年代後半には、英国のライフスタイル・ショップ「ハビタ (habitat)」のクリエイティブ・ディレクターに就任し、シンプルでモダンなデザインを通じて日常生活を豊かにするというテレンス・コンランのビジョンを維持しながら、ハビタのブランドイメージの再生に成功しました。2001年、英国デザイン界への貢献が認められ、女王陛下よりOBE (大英帝国勲章) が授与されました。

2014年にはパリのメゾン・エ・オブジェで「デザイナー・オブ・ザ・イヤー」を受賞。2019年には、RHS (王立園芸協会) が主催するチェルシー・フラワーショーでベストガーデン賞の銀メダルを獲得、同年、ブリティッシュランド・セレブレーション・オブ・デザイン賞で名誉あるロンドンデザインメダルを受賞するなど、数々の賞を手に取り、業界で最も称賛される英国人デザイナーの一人であり、類まれなる才能を持つデザイナーとして国際的に高い評価を受けています。



2007年に設立された Design Research Studio (デザイン・リサーチ・スタジオ) は、トム・ディクソンが主宰する革新的なデザイン・オフィスであり、最近のプロジェクトとしては、Virgin Voyage (ヴァージン・ヴォヤージュ) が初めて手掛けるモダン・ライフスタイルを満喫できる客船のインテリア・デザイン、フランスのベルシーにあるプルマンホテルのリニューアル、パリ シャンゼリゼのレストラン「Le LE Drugstore (ル・ドラッグストア)」、そしてレストラン、ショップ、デザイン・オフィスが一体となった Tom Dixon ヨーロッパ初の旗艦店、イタリア ミラノの「Manzoni (マンゾーニ)」など、世界各地で数々の傑出した空間構築を手掛けています。そして2018年、Tom Dixonは自社の本拠地を、ロンドンのキングス・クロスにあった広大な鉄道操車場跡地に建設された大型再開発プロジェクト「Coal Drop Yard (コール・ドロップ・ヤード)」に移転しました。



Beat (ビート)、Melt (メルト)、S-Chair (Sチェア)、Wingback (ウイング・バック) などのブランドを代表する商品は、単なる商業的なベストセラーという意味合いだけではなく、その一部はロンドンのヴィクトリア&アルバート・ミュージアム、ニューヨークのMOMA、パリのポンピドゥーセンターなど、世界でも著名な美術館にアート作品として所蔵されています。また、Fat Chair (ファットチェア)、Spring (スプリング)、Swirl (スワール) など直近3年間でお披露目された商品も、そのデザインの独創性から、多くの市場の支持を受け、Tom Dixonの新たなブランドのアイコンとして認知されはじめています。



**参考情報：Tom Dixon の歩み**

- 2002 トム・ディクソンが自身の名を冠した会社を設立、第一弾として「ミラーボール」を発表
- 2003 デザインリサーチスタジオ（DRS）を設立
- 2004 1989年にトム・ディクソンがデザインし、カッペリーニ社が発売したSチェアが  
ニューヨーク近代美術館に永久保存される
- 2005 BEATライト発表
- 2006 「Great Giveaway」のスタントの一環として、射出成型されたポリスチレン製の椅子500脚を  
トラファルガー広場に納品、注目を集める
- 2007 ショーディッチ・ハウスのためにウイングバック・チェアをデザイン
- 2008 ロンドンのセンター・ポイント・タワーの最上階にある会員制クラブの内装を手掛ける  
イベントスペース「パラマウント」の内装を手掛ける
- 2009 ロンドンのサマセットハウスにボンベイ・サファイア・ダスク・バーを手掛ける
- 2010 バハマに水中バイオロック生産工場を設立する
- 2011 ブランド初の店舗、オフィス、レストランを備えた「The Dock」をロンドン西部にオープン
- 2012 ミラノ・サローネでMOSTを発表
- 2013 自身のデザイン哲学をつづった「DIXONARY」を出版  
アディダスとのコラボレーションをミラノ・サローネで発表
- 2014 ロンドンのSea Containers Hotelのリニューアルを手掛ける
- 2015 MELTライトを発表し、瞬く間にベストセラーとなる  
同年、アジア最初の旗艦店TOM DIXON SHOPを東京にオープン
- 2016 ミラノ・サローネで、シーザーストーンとコラボレーションした「The Restaurant」発表
- 2017 パリのシャンゼリゼ通のレストラン「Le Drugstore」のデザインを手掛ける
- 2018 ロンドンのキングス・クロスにCoal Office\*をオープン（\*新たな旗艦店と本社オフィスを兼ね備えた施設）
- 2019 ロンドン・デザイン・フェスティバル・メダル・アワードを受賞
- 2020 北京に中国初の旗艦店をオープン
- 2021 エル・デコレーション・ブリティッシュ・デザイン・アワードを受賞
- 2022 ミラノ・サローネで20周年を祝うイベントを開催
- 2023 アジアにおける新しいデザイン・ハブ（発信基地）としてTOM DIXON TOKYOが  
日本のインテリア・ブランドの聖地、東京南青山にオープン

**プレスお問合せ先**

Tom Dixon PR SUPPORT  
HOW INC.  
MAIL : [pressrelease@how-pr.co.jp](mailto:pressrelease@how-pr.co.jp)  
TEL : 03-5414-6405

**お客さまお問合せ先**

TOM DIXON TOKYO / TDX株式会社  
TEL : 03-6421-0847  
WEB : <https://www.tomdixon.tokyo>